

ほほえみ

アメリカの原子力潜水艦が実習船「えひめ丸」と衝突、未だ9人が行方不明である。原潜には民間人が乗っていてしかも操縦していたという。潜水艦を民間人が操縦し、しかも緊急浮上をするなどとうてい考えられないことである。潜水艦は遊園地のゴーカートとは違う。艦長は、また乗っていた民間人は何を考えているのだろうか。何を考えているのか判らない人は日本にもいた。その知らせを受けたときに平然とゴルフを続けた総理大臣。健康管理が必要なのは十分に理解できるがやはり首相としての自覚と責任を持つべきだ。何十年も首相をやるわけではない。ほんの数年。いや後何日と世間では言われている。せめてその任にある間は慎むべきだし、万一やっていたとしてもすぐにやめるべきである。「艦長」も「首相」もプロ意識が欠落している。いかなる「プロ」も社会的責任を自覚すべきである。

自戒の念も込めて...

<第68回 ほほえみの会>

初めての方も含め7人が集まりました。

5年生の男の子 再生不良性貧血 学校を1日も休んだことのない子で病気に驚いた。

移植をすれば再発はまずないと言われドナーを探したところ高校1年の姉とHLAの型が一致、移植に臨んだ。が、前処置の2日目でトラブルが発生、急遽中止に。

本人は春には学校に行けると楽しみにしていたのがっかり。

またドナーの姉も風邪をひかないようにとか交通事故に遭わないようにと周りから注意を受けプレッシャーを感じていたが移植が延びたことで精神的に辛くなった。さらに祖父母から言われることもあり親としても辛い。しかし大事に至らず今は快方に向かっているのでいい方に考えて過ごしている。

3歳女の子 神経芽腫 手術をした 難しいと言われた手術だったが無事にできた。それまでの薬も効いていたようだ。

今後まだ治療は続くが民間療法は皆どうしているだろうかとのこと。出席者からは

- ・治療中は検査結果に反映される事があるのでやらない方がいいと他の小児科の先生に言われたことがあるのでやらない。治療が終わってからは良いのではないか。

- ・イモから作った薬が血小板を上げるのに有効だと聞いた。

- ・笑いが白血球を増やすと聞く。なるべく笑わせるようにしている。また注射でうまく入らない時など親は横で見ていることしかできない。幼少期の辛さを本人は虐待だと感じ将来に影響が出ることはないだろうか心配。

- ・自分の子の場合入院中の楽しいことは覚えているがいやなことは皆忘れている。

親の愛情があればいいのではないか。いやなことがあった後は抱きしめてやるなどしてストレスの発散をしてあげたらどうか。

家が遠いのでコアラの家に入居を希望したところ、もっと遠い人、もっと症状の重い人がいるのでと断られた。

病院近くに宿泊施設がほしい。

また、コアラに入居中の人は毎日病院とコアラの往復で食欲もない。入院は長期戦になるので親が倒れないように食事にも気を遣って健康に心がけないといけないという話もでした。

次回は 3月11日(日) 時からです

ほほえみの会 代表 池田恵一